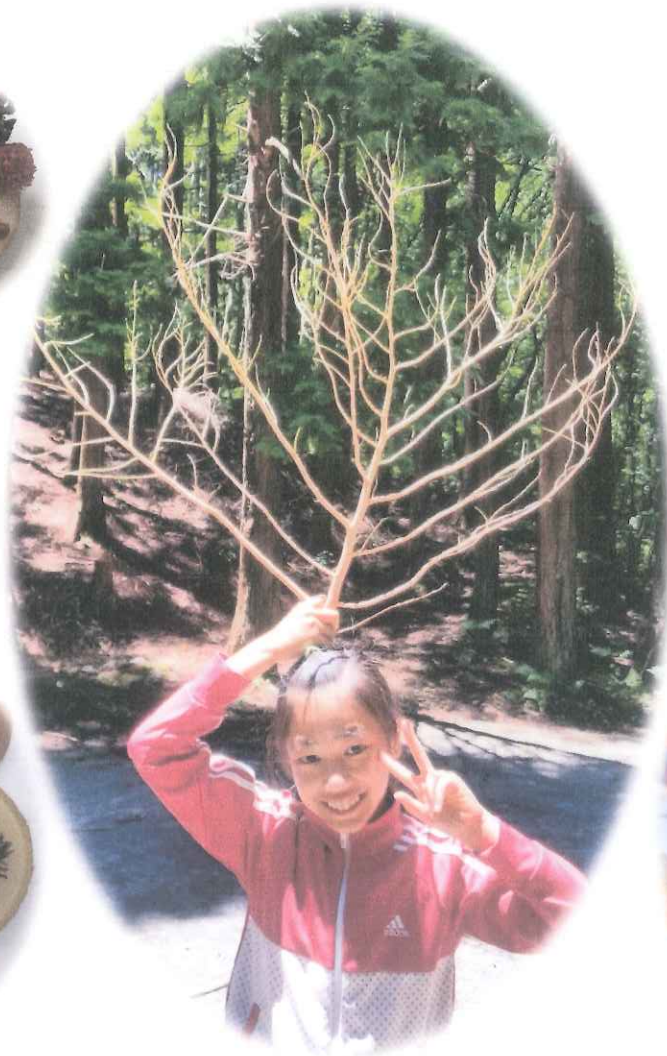


2019年度市民提案型パートナーシップ事業 実施報告書

YAMANeko 楽舎

木の实大好き 自然素材のクラフト体験を通じて
みんなちがってみんないい 3



事業の目的について

- ・つるや木の実など、自然の素材をモチーフとしたクラフト制作を通じて、楽しみながら、自然の豊かさ・素晴らしさ、大切さに気付き、自然愛護の気持ちを啓蒙する。（自然の中には無駄なものや同じものはないことから、「みんなちがってみんないい」をコンセプトに取り組む。）
- ・葛城山・水晶山のウバメガシのどんぐり、くぬぎ会館のシーダーローズ、雑木林の様々なつるや木の実など、身近で貴重な自然に触れることで、伊豆の国の自然についての理解を深めることにより、郷土愛の気持ちを深めてもらう。

事業の内容について

- ・クラフトワークショップ・教室は、主として伊豆の国市在住の子ども・大人を対象として募集し、伊豆の国市内の大仁くぬぎ会館・茅野っ子広場を借用して開催（伊豆の国市立花のYAMANEKO 楽舎アトリエでは随時開催）
- ・市内イベントにて、自然素材を材料とした万華鏡や森のアロマのワークショップを開催。（手軽に短時間で作ることができるため）
- ・YAMANEKO キッズを公募。YAMANEKO キッズとして、計画的・継続的なプログラムに参加することにより、伊豆の国の自然に関する興味や理解を深めた。
- ・（8月・10月・12月は生涯学習課主催の行事にて子どもを対象としたクラフトワークショップ・体験教室を開催。）
- ・本年度も昨年度同様に他団体との交流に力を入れることにより、より深い自然体験をすることが可能になった。

役割分担

YAMANEKO 楽舎⇒ワークショップの計画・運営
伊豆の国市生涯学習課⇒広報活動への協力・
事業への助言・情報提供

事業報告

★ 他地域または、助成対象外のクラフト講座・ワークショップ

2019年

6月 2日	定例会議
9日	温泉場お散歩市にてミニワークショップ（森のアロマ）
16日	森づくり伊豆の会主催の間伐体験参加
23日	やまねこ自然観察会（長野白樺林）
28日	森づくり伊豆の会工房見学

- 29日 倉庫の移転
 7月 7日 定例会議
 14・15日 富士山こどもの国ワークショップ★
- 8月 1日 きにゃんね大仁花火大会にて出店
 (自然素材の万華鏡・森のアロマ)
 4日 定例会議
 16日 YAMANEKO キッズイベント・クラフトワークショップ
 17日 生涯学習課アイキッズの講座★
 ※18日 アイキッズ伊豆日日新聞掲載
 27日 KONOMI にてクラフト講座★
- 9月 8日 温泉場お散歩市にてミニワークショップ (森のアロマ)
 定例会議
 ※YAMANEKO キッズ募集記事が伊豆日日新聞に掲載
- 10月5日 葛城山ハイク下見
 6日 YAMANEKO キッズ葛城山ハイキング
 ※ウバメガシのどんぐりをさがそう伊豆日日新聞掲載
 19日 富士山こどもの国ハロウィーンボランティア ★
 20日 YAMANEKO キッズ間伐体験
 26日 YAMANEKO キッズクラフト講座 (森林づくり伊豆の会参加)
 27日 茅野っ子祭りクラフトワークショップ★
- 11月2日 北条早雲没後500周年祭にてミニワークショップ
 (自然素材の万華鏡)
 3日 小浦風待ち縁の日にてミニワークショップ★
 (自然素材の万華鏡)
 5日 定例会議
 9日 温泉まんじゅう祭りにてミニワークショップ
 (自然素材の万華鏡・森のアロマ)
- 12月1日からクリスマスリースワークショップを随時開催 (毎日)
 10日 たんぽぽの会リース講座
 13日 三島母親の会クリスマスオーナメント講座★
 22日 生涯学習課クリスマスオーナメント講座
 ※アイキッズクリスマスオーナメント講座伊豆日日新聞掲載
 25日 田方・ゆめワーク主催のクリスマス会参加

2020年

- 1月 5日 FMいずのくに出演。定例会議
 2月 16日 大仁梅祭りにてミニワークショップ (雨天のため販売のみ)
 3月 1日 定例会議
 8日から14日 アートビレッジ写真展 (福島原発事故と取り残された動物たち) にてミニワークショップ (写真展中止)

成果



1、スキルアップをめざして

YAMANEKO 自然観察会メンバーの交流と自然への理解を深めることを目的に行った。スタッフの樹木や森林への知識や伊豆の国の自然への興味が深まり、講座での説明に役立った。



6月森林づくり伊豆の会の方々と長野県佐久の白樺林の自然観察会に参加。15名で森林インストラクターの先生から話をうかがいながらのハイキング。



10月水晶山のウバメガシ。
3回ほど出かけたが、葛城山では、ほとんど結実が見られなかった。



2、他団体との交流

昨年度同様他団体との交流に力をいれた。新しい講座を取り入れることができ、提供可能な自然素材の種類がより豊富になった。

森林づくり伊豆の会



昨年度同様、板や枝をカットしていただいたり、フォトフレーム作りの講座でも、樹木の説明や子どもたちの支援をしていただいたり、たいへんお世話になった。
さらに今年は、植林での間伐・杉の皮むきなど、YAMANNEKO キッズの講座でもお世話になった。
ヤマネコストラップの作成にもご協力いただいた。



もくせい苑

クラフト用の木の実や花を寄付していただいた。もくせい苑メンバーさんの缶バッジをテーマとしたクリスマスリースを飾っていただいた。来年度はクリスマスリースのワークショップを開催予定。



田方・ゆめワーク

7年前より自然素材の万華鏡の準備作業などをお手伝いいただいている。

今年は YAMANEKO スタッフがクリスマス会に参加。「夢がいっぱいゆめワーク」のイメージで木の実をたくさん詰め込んだリースを飾っていただいた。来年度はさらにリースのワークショップを開催することを検討中。



こども生け花教室

たんぽぽの会

交流を始めて5年目。花材からクラフト制作に使うヒイラギなどをご寄付いただき、リース講座にも参加していただいている。たんぽぽの会員として参加し、自然素材のクラフトに興味をもち、YAMANEKO 楽舎主催の講座に参加する子もいる。

3、より多くの方々と

森のアロマ、自然素材の万華鏡、クリスマスリースのワークショップを開催し、今年も大勢の皆様自然のクラフト制作を楽しんでいただきました。

① 森のアロマ(エアーフレッシュナー)

伊豆の国の植林からいただいたヒノキやスギをリカーにつけて半年。さわやかな針葉樹の香りがするエアーフレッシュナーが完成します。ボトルには万華鏡同様にハンコをおしたり、手描きでマイボトルにしたり思い思いに楽しめます。今年度は温泉場お散歩市で4回提供。

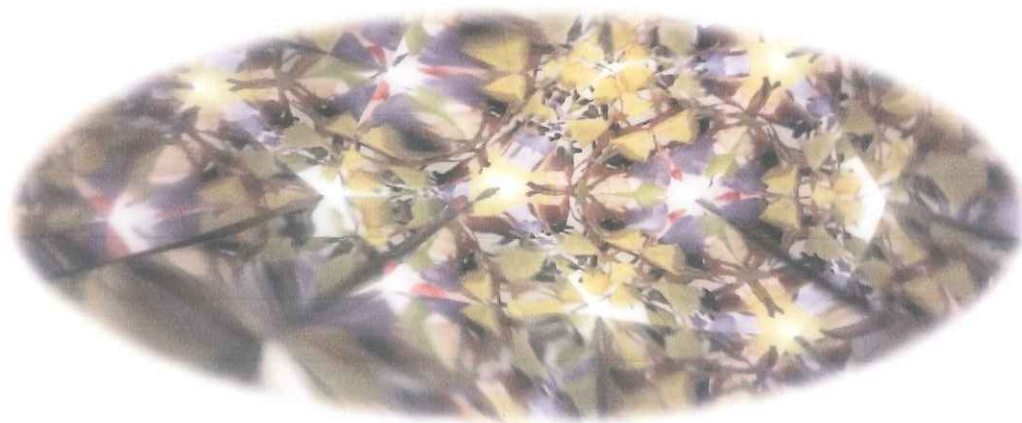


②自然素材の万華鏡

温泉場お散歩市・温泉まんじゅう祭りなどの市内イベントで、手軽に短時間でできるワークショップとして提供。

ドライにしたニシキギの赤い実・アジサイのブルー・ヒマワリの黄色・モミジの赤・究極の自然素材「お茶」など、柔らかい自然の色合いをチョイス。筒の周り擦すスタンプは合計100種類でスタッフの手作り。

特に温泉まんじゅう祭りでは、今年も待つ人ができるほどの大盛況。スタッフ7名で嬉しい悲鳴をあげていましたが、混雑してくると、材料の説明ができなくなることが、今後の課題。



③クリスマスリースのワークショップ

12月3日から21日の開催期間中、親子で、職場の仲間と、友達と、次々と予約をいただき、今年度の体験者は94名。(会場は YAMANEKO 楽舎のアトリエ)

ワークショップの形態で、ジオ的にも価値のある、伊豆の国市のウバメガシのどんぐり(今年度は特に希少価値)、くぬぎ会館のシーダーローズなどの説明を交え、自然の素材を使ったクリスマスリースや木の実のツリーを存分に楽しんでいただきました。



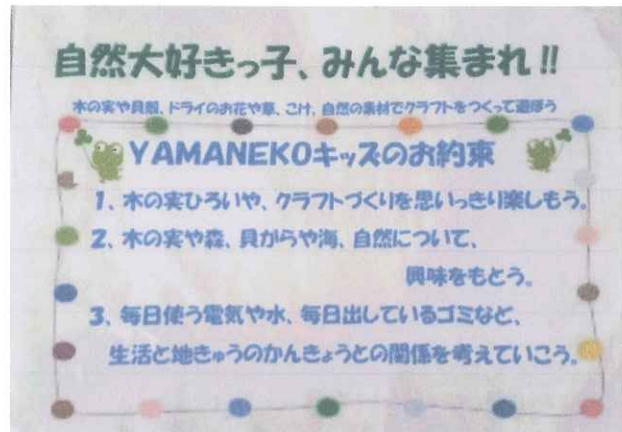
←ヒイラギ。
例年白い花が咲き終わ
ってからの12月となる
が、:今年は花が残っ
ていた。(温暖化の影響
か?)

モミの木→



4、YAMANEKO キッズとともに

・公募で集まった19名の YAMANEKO キッズを対象(クラフト講座は一般からも参加)に5回の企画を実施した。(報告資料に記載)間伐体験や、木の実拾いのフィールドワーク、ネイチャーゲームを通じて体感したことが、クラフト講座でも生かされ、子どもたちはより自然を身近に感じ、興味を持つことができた。



YAMANEKO 楽舎

YAMANEKO 楽舎は伊豆の国市を起点に、
自然素材のクラフト製作を通して、
自然の豊かさや素晴らしさを体感できるような
ワークショップや講座に取り組むボランティア団体です。
伊豆の国の子どもたちと楽しみながら伊豆の国の自然に
触れることができるような企画を紹介しています。

2019 年度登録会員 YAMANEKOキッズ大募集!!

一緒にクラフトを楽しみ	8月16日	クラフト講座
いろいろな経験をする	10月20日	間伐体験
YAMANEKO キッズを	10月26日	クラフト講座
大募集しています!!	12月	クリスマスリース講座

※対象は小学生・中学生です※

登録特典1 YAMANEKO 楽舎主催行事に優先してご案内
登録特典2
YAMANEKO 特製ストラップまたはキーホルダーをプレゼント

森のクラフト
YAMANEKO 楽舎
公式 FB です

お申込み他は裏面をご覧ください
お問合せ 090-7307-3215 市川



作りたい物があると、立花のアトリエを訪れてクラフト制作。秋には5名のキッズがやってきました。

今後の課題と取り組み

- 内容充実を図るため、今年度と同様に、他団体とのコラボ・交流活動を継続する。
 - 登録の YAMANEKO キッズとともに、新たなクラフト制作や講座を継続していく。
(自然の素晴らしさ・豊かさを感じることから、さらに自然を守り大切にすること、自然や地球生物との共生、環境問題など、ひとりひとりの子どもたちの感性を刺激するような内容の講座を目指す。)
 - 自然素材の万華鏡や森のアロマに加え、短時間で手軽に作成可能な木の実のマグネットやブローチ・ネックレス・クリップなどを市内イベントなどで提供し、より多くの方に、自然に親しんでいただく機会を増やしていく。
- ※将来的な希望→訪れた方が、簡単な自然素材のクラフトを楽しむことができ、さらには伊豆の国の自然素材に興味を持てるような展示物(ジオを含む)や自然関係の書籍などを常設できる施設を作りたい。(ビジターセンターなど)



夏のリースやお正月用のリールなど、より豊富なバリエーションを提供していくことで、より多くの方に参加していただけたと考えている。
新しい講座にもチャレンジしていきたい。

3年間の助成をいただいて

・受益者負担の原則には則り、活動して参りましたが、参加者の方々に非常にリーズナブルな価格でクラフトを楽しんでもらうことができた。⇒参加者が増え、伊豆の国を中心に自然の豊かさを感じてもらう機会が増えた。(特にクリスマスリースワークショップ)



・まず、YAMANEKO 楽舎スタッフが伊豆の国の自然について知ることが、より深い説明をすることになると考え、ジオガイド・森林インストラクターの説明を受けるなど、毎年1回以上のフィールドワークと伊豆の国・または周辺森林の自然観察会を実施。これからの活動に生きる知識を獲得できた。

※伊豆の国の子どもたちが、伊豆の国を知り、伊豆の国を好きになることが将来の地域おこしにつながると考え、自然を窓口に関わり合いで参りました。例えば、「このイベントに行けばYAMANEKO 楽舎のクラフトが作れる…」というような、現在の地域おこしの機動力とはなり得なかったのですが、今後も続けていく所存です。小さなボランティア団体の活動にご理解いただきありがとうございました。

